

2024年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.2
2. 第2四半期 業績のポイント	P.3
3. 第2四半期 業績の状況	P.4
4. 第2四半期 業績と予想（連結）	P.5
5. 主要製品の状況	P.6
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.7
7. 開発品一覧	P.8～10
【参考資料】	
8. 損益計算書の概要（連結）	P.12～13
9. 貸借対照表の概要（連結）	P.14
10. 主な業績項目の推移（連結）	P.15
11. 杏林製薬資料	P.16～19

2023年11月8日
杏林製薬株式会社



■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2024年3月期 第2四半期 決算概観（連結）



(単位：百万円)	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	対前年 (%)	24年3月期 (予想)	対前期 (%)
売上高	47,735	49,102	49,093	54,937	+11.9	116,200	+2.6
営業利益	1,502	-68	777	1,144	+47.2	6,000	+17.1
経常利益	1,813	285	1,171	1,387	+18.4	6,500	+11.5
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	2,118	121	1,242	1,757	+41.4	4,900	+3.7

24年3月期 第2四半期 連結業績（実績）

【売上高】 薬価改定の影響はあったものの、積極的な新薬の普及に努め、主力製品「ベオーバ」、「ラスビック」等が伸長し、新医薬品等（国内）の売り上げは前年同期を大幅に上回る実績となりました。また後発医薬品の売り上げも増加し、全体の売上高は549億37百万円と前年同期比58億44百万円の増収となりました。

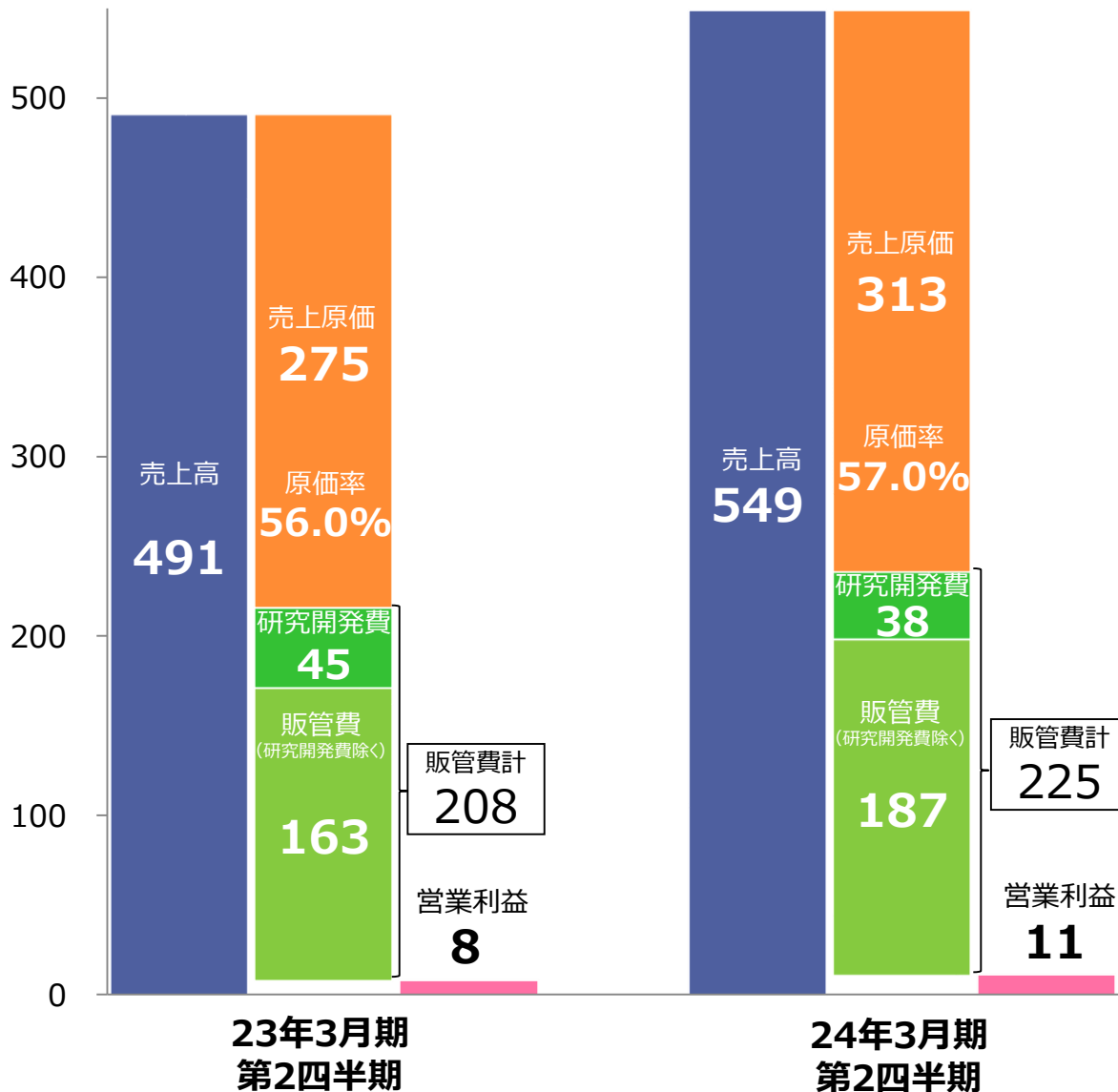
【利益】 売上拡大により売上総利益は236億45百万円と前年同期に対して20億33百万円増加しました。他方、販売費及び一般管理費は16億66百万円増加（うち、研究開発費は6億56百万円減少）しましたが、売上総利益の増加により営業利益は11億44百万円と前年同期比3億66百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益も、前年同期に計上した特別利益（西日本配送センターの火災による保険差益、受取損害賠償金等）の減少はあったものの、投資有価証券の売却益9億69百万円を特別利益に計上した結果、17億57百万円と前年同期比5億14百万円の増益となりました。

24年3月期 連結業績（予想）

現時点におきまして、2023年5月11日に公表した通期の業績予想を変更しておりません。
また2023年5月11日に公表した配当予想（年間52円／株）の変更はございません。

2024年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位：億円)



売上高は増加 (+58億円)

- 新医薬品等（国内）の売上増加
 - ・主力製品（ベオーバ、ラスビック、フルティフォーム）の伸長
- 後発医薬品の売上増加

売上原価率は1.0ポイント上昇

【低下要因】

- 新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加

【上昇要因】

- 薬価改定の影響（杏林製薬7%台）
- 後発医薬品の売上増加

売上総利益は増加 (+20億円)

販管費は17億円増加

- 研究開発費は7億円減少
 - ・ActivX解散に伴う減少等
- 販管費（研究開発費除く）は24億円増加
 - ・販売費、人件費等の増加
 - ・一般経費の増加（特許等使用料等）

営業利益は増加 (+3億円)

2024年3月期 第2四半期 業績の状況



(単位：億円)	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	対前年 (額)			(対前年)	(対予想)
				2023年5月11日発表	2023年5月11日発表		
売上高	491	549	+58	■売上高	549億円	(+58)	(+12)
新医薬品等(国内)	327	379	+52	●新医薬品等(国内)	379億円	(+52)	(+12)
新医薬品(海外)	3	2	-1		23.3 (2Q)	24.3 (2Q)	
後発医薬品	161	169	+8	・ベオーバ	55 ⇒	83	(+28) (-5)
営業利益	8	11	+3	・ラスビック	10 ⇒	25	(+15) (+11)
経常利益	12	14	+2	・リフヌア	1 ⇒	4	(+3) (-1)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	18	+6	・デザレックス	30 ⇒	31	(+1) (-1)
				・フルティフォーム	57 ⇒	62	(+5) (+7)
				・ペンタサ	65 ⇒	61	(-4) (+1)
				・キプレス	27 ⇒	26	(-1) (+4)
				・ムコダイン	15 ⇒	20	(+5) (+6)
				・ナゾネックス	6 ⇒	4	(-2) (+1)
				・ウリトス	4 ⇒	3	(-1) (+2)
				●新医薬品(海外)	2億円	(-1)	(0)
				●後発医薬品	169億円	(+8)	(+2)
				キプレスのオーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」の売上増加 23年6月追補収載品の売上寄与等			
				■営業利益	11億円	(+3)	(+5)
				●原価率：57.0% (前年同期：56.0%)			
				【低下要因】新薬(ベオーバ、ラスビック等)の売上増加 【上昇要因】薬価改定の影響、後発医薬品の売上増加			
				●研究開発費：38億円 (前年同期：45億円)			
				ActivX解散に伴う減少等			
				●販管費(研究開発費除く)：187億円 (前年同期：163億円)			
				販売費、人件費、減価償却費、一般経費(特許等使用料等)の増加			
				■親会社株主に帰属する 四半期純利益	18億円	(+6)	(+11)
				主な特別利益：投資有価証券売却益9億69百万円			
				前年同期：西日本配送センターの火災により被災した委託保管製品に関わる保険差益、 及び受取損害賠償金12億74百万円を特別利益として計上 ActivX社の解散に関わる減損損失、及び関係会社整理損失引当金繰入額 6億63百万円を特別損失として計上			

2024年3月期 第2四半期 業績と予想（連結）

(単位：百万円)	第2四半期				通期			
	23年3月期 (実績)	24年3月期 (実績)	対前年 (額)	対前年 (%)	24年3月期 (予想)	対予想 (額)	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)
売上高	49,093	54,937	+5,844	+11.9	53,700	+1,237	113,270	116,200
新医薬品等（国内）	32,651	37,875	+5,223	+16.0	36,700	+1,175	74,770	79,100
新医薬品（海外）	312	167	-145	-46.5	200	-33	308	400
後発医薬品	16,128	16,895	+766	+4.7	16,700	+195	38,190	36,600
営業利益	777	1,144	+366	+47.2	600	+544	5,123	6,000
経常利益	1,171	1,387	+216	+18.4	900	+487	5,827	6,500
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,242	1,757	+514	+41.4	700	+1,057	4,723	4,900

2024年3月期 第2四半期 主要製品の状況



(単位：億円)		第2四半期					24年3月期 (予想)		通期	
		22年3月期 (実績)	23年3月期 (実績)	24年3月期 (実績)	対前年 (額)	対前年 (%)			23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	43	55	83	+28	+50.8	88	-5	129	189
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	8	10	25	+15	+152.7	14	+11	25	32
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬)	-	1	4	+3	+350.3	5	-1	2	13
	デザレックス (アレルギー-性疾患治療薬)	26	30	31	+1	+3.8	32	-1	85	89
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	63	57	62	+5	+8.2	55	+7	120	114
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	71	65	61	-4	-6.9	60	+1	128	118
	キプレス (気管支喘息・アレルギー-性鼻炎治療剤)	36	27	26	-1	-3.3	22	+4	66	53
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	16	15	20	+5	+30.7	14	+6	35	30
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー-性鼻炎治療剤)	7	6	4	-2	-39.7	3	+1	25	12
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	7	4	3	-1	-26.9	1	+2	7	2
ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	10	10	10	0	-7.6	10	0	20	19	
ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	10	11	8	-3	-23.1	10	-2	21	21	
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー-性鼻炎治療剤)	51	54	58	+4	+7.1	49	+9	133	110
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー-性鼻炎治療剤)	10	11	9	-2	-17.0	9	0	47	34
	イミダフェナシン錠「杏林」 (過活動膀胱治療剤)	4	4	3	-1	-15.3	2	+1	7	4

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 (連結)

(単位：百万円)	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	対前年 (%)	23年3月期	24年3月期 (予想)
研究開発費	5,200	4,364	4,498	3,842	-14.6	10,903	9,600
設備投資	1,858	751	3,882	1,280	-67.0	5,252	5,900
減価償却費	1,716	1,831	1,907	2,172	+13.9	3,840	4,300

設備投資の詳細 (実績／予想)

(単位：億円)	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	23年3月期	24年3月期 (予想)
工場設備	36	8	42	50
管理・販売設備	1	2	5	5
研究用設備	2	2	5	4

開発品一覧① (2023年11月8日現在)

Ph3 ~ 発売

開発段階		製品名/ 開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph3 (22年9月)	Ph3 (エイタイヤー社 : 米国)	KRP-R120	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	エイタイヤー社	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2 受容体 (NRP2)に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	

POCプロジェクト (Ph1 ~ Ph2)

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph1 (22年8月)	—	KRP-114VP	過活動膀胱	メルク社	膀胱平滑筋に存在するβ3アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する	「ベオーバ」の小児への適応拡大
—	Ph1 (21年4月: 英国)	KRP-A218	重症化リスクを有する ライノウイルス感染症	自社	宿主分子を標的とし、体内におけるウイルス増殖を抑制する抗ウイルス薬	

開発品一覧② (2023年11月8日現在)

導入品の状況

※前回 (2023年8月2日) からの変更点

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph2 (19年12月) あすか製薬(株)	—	AKP-009	前立腺肥大症	あすか製薬(株)	新規アンドロゲン受容体モジュレーター作用を有し、前立腺縮小作用に加えて排尿機能改善作用を併せ持つ、新しい前立腺肥大症治療薬として期待される	日本国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結 (20年9月) 高用量での追加Ph1試験 (終了)

※追加Ph1の結果を受け、データを再確認するために再度Ph1試験を実施中 (あすか製薬)

導出品の状況

開発段階	製品名/ 開発コード	導出先	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
Ph3	KRP-203	プリオセラ社	—	自社	S1P受容体アゴニスト	本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の知的財産及び原薬等を譲渡 (20年9月)

その他：（2023年11月8日現在）

DTxの状況

※前回（2023年8月2日）からの変更点

契約先	開発コード	適応症	備考
サスメド	KRP-DT123	耳鳴	耳鼻科領域における治療用アプリの共同研究開発及び販売に関する契約を締結（22年11月） ※特定臨床研究開始（23年9月）

【参考資料】

損益計算書の概要 (連結) - ①

(単位：百万円)	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	49,093	100.0	54,937	100.0	+11.9	+5,844
新医薬品等 (国内)	32,651	66.5	37,875	68.9	+16.0	+5,223
新医薬品 (海外)	312	0.6	167	0.3	-46.5	-145
後発医薬品	16,128	32.9	16,895	30.8	+4.7	+766

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社3社： キョーリン リメディオ(株)
 キョーリン製薬グループ工場(株)
 ActivX Biosciences, Inc. (現在清算手続き中)
 持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

(対前年)

■ 売上高	54,937百万円	(+5,844)
● 新医薬品等 (国内)	37,875百万円	(+5,223)
(億円)	23.3 (2Q)	24.3 (2Q)
・ベオーバ	55 ⇒	83 (+28)
・ラスビック	10 ⇒	25 (+15)
・リフヌア	1	4 (+3)
・デザレックス	30 ⇒	31 (+1)
・フルティフォーム	57 ⇒	62 (+5)
・ペンタサ	65 ⇒	61 (-4)
・キプレス	27 ⇒	26 (-1)
・ムコダイン	15 ⇒	20 (+5)
・ナゾネックス	6 ⇒	4 (-2)
・ウリトス	4 ⇒	3 (-1)
● 新医薬品 (海外)	167百万円	(-145)
● 後発医薬品	16,895百万円	(+766)
	・オーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」の売上増加	
	・23年6月追補収載品の売上寄与	

損益計算書の概要 (連結) - ②

(単位：百万円)	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	49,093	100.0	54,937	100.0	+11.9	+5,844
売上原価	27,481	56.0	31,292	57.0	+13.9	+3,810
売上総利益	21,611	44.0	23,645	43.0	+9.4	+2,033
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	20,833 (4,498)	42.4 (9.2)	22,500 (3,842)	41.0 (7.0)	+8.0 (-14.6)	+1,666 -656
営業利益	777	1.6	1,144	2.1	+47.2	+366
営業外収益	447	0.9	313	0.6	-30.0	-134
営業外費用	53	0.1	70	0.1	+30.4	+16
経常利益	1,171	2.4	1,387	2.5	+18.4	+216
特別利益	1,319	2.7	969	1.8	-26.5	-350
特別損失	678	1.4	8	0.0	-98.8	-670
税金等調整前 当期純利益	1,812	3.7	2,349	4.3	+29.6	+536
法人税・住民税 及び事業税	493	1.0	606	1.1	+23.0	+113
法人税等調整額	76	0.2	-15	-0.0	-	-91
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,242	2.5	1,757	3.2	+41.4	+514

<当期のポイント>

(対前年)

◆ **売上原価率：57.0%** **(+1.0ポイント)**

【低下要因】

・新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加

【上昇要因】

・薬価改定の影響（杏林製薬7%台）

・後発医薬品の売上増加

◆ **研究開発費率：7.0%** **(-2.2ポイント)**

・38億円（前年同期比：7億円減少）

ActivX解散に伴う減少等

◆ **販管費率（研究開発費除く）：34.0%**

(+0.7ポイント)

・187億円（前年同期比：24億円増加）

販売費、人件費、減価償却費の増加

一般経費（特許等使用料等）の増加

■ **営業利益 1,144百万円 (+366百万円)**

■ **親会社株主に帰属
する四半期純利益 1,757百万円 (+514百万円)**

・主な特別利益：投資有価証券売却益9億69百万円

・前年同期：西日本配送センターの火災により被災した委託保管製品
に関する保険差益8億81百万円、受取損害賠償金
3億93百万円を特別利益として計上
ActivX社の解散に関する減損損失1億01百万円、
関係会社整理損失引当金繰入額5億61百万円を
特別損失として計上

■ **配当（中間） 20円00銭/株**

貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	23年3月期末		24年3月期 第2四半期末		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期末増減
流動資産	119,030	67.6%	119,769	68.0	+739
現金及び預金	19,394		26,232		
受取手形、売掛金、及び契約資産	47,301	—	38,356	—	—
棚卸資産	48,026		51,721		
その他	4,307		3,459		
固定資産	57,014	32.4%	56,405	32.0	-608
有形固定資産	25,834		25,856		
無形固定資産	5,393	—	5,206	—	—
投資その他	25,785		25,342		
資産合計	176,045	100.0%	176,175	100.0	+130
流動負債	34,983	19.9%	35,081	19.9	+97
支払手形及び買掛金	13,762		14,191		
その他流動負債	21,221	—	20,890	—	—
固定負債	15,600	8.9%	14,867	8.4	-732
負債合計	50,584	28.7%	49,949	28.4	-635
株主資本	122,182	69.4%	122,396	69.5	+213
その他の包括利益累計額	3,278	1.9%	3,830	2.2	+551
その他有価証券評価差額金	5,695		5,960		
為替換算調整勘定	340	—	430	—	—
退職給付に係る調整累計額	-2,756		-2,560		
純資産合計	125,461	71.3%	126,226	71.6	+765
負債及び純資産合計	176,045	100.0%	176,175	100.0	+130

<当期のポイント>

(対前期末)

■ 流動資産：739百万円増

- ・現金及び預金の増加 (+6,837百万円)
- ・受取手形、売掛金、及び契約資産の減少 (-8,945百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+3,695百万円)
- ・その他の減少 (-847百万円)

■ 固定資産：608百万円減

- ・有形固定資産の増加 (+21百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-187百万円)
- ・投資その他の減少 (-443百万円)

■ 流動負債：97百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (+428百万円)
- ・その他流動負債の減少 (-330百万円)

■ 固定負債：732百万円減

主な業績項目の推移 (連結)

(単位：百万円)	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	23年3月期	24年3月期 (予想)
売上高	49,102	49,093	54,937	113,270	116,200
(海外売上)	(342)	(312)	(167)	(308)	(400)
売上原価	26,732	27,481	31,292	63,102	—
(売上原価率)	(54.4%)	(56.0%)	(57.0%)	(55.7%)	—
販売費及び一般管理費	22,438	20,833	22,500	45,043	—
(販管費率)	(45.7%)	(42.4%)	(41.0%)	(39.8%)	—
うち研究開発費	4,364	4,498	3,842	10,903	9,600
(研究開発費率)	(8.9%)	(9.2%)	(7.0%)	(9.6%)	(8.3%)
営業利益	-68	777	1,144	5,123	6,000
(営業利益率)	(-0.1%)	(1.6%)	(2.1%)	(4.5%)	(5.2%)
経常利益	285	1,171	1,387	5,827	6,500
(経常利益率)	(0.6%)	(2.4%)	(2.5%)	(5.1%)	(5.6%)
四半期(当期)純利益	121	1,242	1,757	4,723	4,900
(四半期(当期)純利益率)	(0.2%)	(2.5%)	(3.2%)	(4.2%)	(4.2%)
一株当たり利益	2.12円	21.69円	30.66円	82.44円	85.51円
資本金	700	700	700	700	—
総資産	164,408	175,461	176,175	176,045	—
純資産	121,927	124,735	126,226	125,461	—
一株当たり純資産	2,127.81円	2,176.74円	2,197.20円	2,189.43円	—
自己資本利益率	0.1%	1.0%	1.4%	3.8%	—
自己資本比率	74.2%	71.1%	71.6%	71.3%	—
人員	2,252人	2,215人	2,156人	2,138人	—
設備投資	751	3,882	1,280	5,252	5,900
減価償却費	1,831	1,907	2,172	3,840	4,300

損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	42,210	100.0	47,673	100.0	+12.9	+5,462
新医薬品等（国内）	31,772	75.3	37,216	78.1	+17.1	+5,444
新医薬品（海外）	195	0.5	167	0.4	-14.5	-28
後発医薬品	10,242	24.3	10,289	21.6	+0.5	+47

<当期のポイント>

(対前年)

■売上高 **47,673百万円** (+5,462)

●新医薬品等（国内） **37,216百万円** (+5,444)

(億円)

	23.3 (2Q)	⇒	24.3 (2Q)	
・ベオーバ	55	⇒	83	(+28)
・ラスビック	10	⇒	25	(+15)
・リフヌア	1	⇒	4	(+3)
・デザレックス	30	⇒	31	(+1)
・フルティフォーム	57	⇒	62	(+5)
・ペンタサ	65	⇒	61	(-4)
・キプレス	27	⇒	26	(-1)
・ムコダイン	15	⇒	20	(+5)
・ナゾネックス	6	⇒	4	(-2)
・ウリトス	4	⇒	3	(-1)

●新医薬品（海外） **167百万円** (-28)

●後発医薬品 **10,289百万円** (+47)

・オーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」は売上増加

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期第2四半期は吸収合併後の当社の数値となっております

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	42,210	100.0	47,673	100.0	+12.9	+5,462
売上原価	22,770	53.9	25,387	53.3	+11.5	+2,617
売上総利益	19,440	46.1	22,285	46.7	+14.6	+2,845
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	18,905 (3,712)	44.8 (8.8)	20,594 (3,344)	43.2 (7.0)	+8.9 (-9.9)	+1,689 (-367)
営業利益	534	1.3	1,691	3.5	+216.2	+1,156
営業外収益	665	1.6	467	1.0	-29.8	-198
営業外費用	29	0.1	29	0.1	+0.7	+0
経常利益	1,170	2.8	2,128	4.5	+81.8	+958
特別利益	1,061	2.5	47,813	100.3	—	+46,751
特別損失	3	0.0	3	0.0	-5.1	-0
税金等調整前 当期純利益	2,228	5.3	49,938	104.8	—	+47,709
法人税・住民税 及び事業税	543	1.3	737	1.5	+35.9	+194
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,685	4.0	49,200	103.2	—	+47,515

<当期のポイント>

(対前年)

◆売上原価率：53.3% (対前年 -0.6ポイント)

【低下要因】

・新薬（ペオーバ、ラスピック等）の売上増加

【上昇要因】

・薬価改定の影響（杏林製薬7%台）

◆研究開発費率：7.0% (対前年 -1.8ポイント)

・33億円（前年同期比：4億円減少）

ActivX解散に伴う減少等

◆販管費率（研究開発費除く）：36.2% (対前年 +0.2ポイント)

・173億円（前年同期比：21億円増加）

一般経費（特許等使用料等）の増加

販売費、人件費、減価償却費の増加

■営業利益 1,691百万円 (対前年 +1,156百万円)

■四半期純利益 49,200百万円 (+47,515百万円)

・主な特別利益：

連結子会社吸収合併による抱合せ株式消滅差益468億43百万円

投資有価証券売却益9億69百万円

・前年同期：西日本配送センターの火災により被災した委託保管製品
に関わる保険差益8億81百万円、受取損害賠償金
3億93百万円を特別利益として計上

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期第2四半期は吸収合併後の当社の数値となっております

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	23年3月期末		24年3月期 第2四半期末		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期末増減
流動資産	127,987	77.7	109,916	68.9	-18,071
現金及び預金	10,881		21,178		
売掛金及び契約資産	40,955	—	33,268	—	—
棚卸資産	38,842		41,860		
その他	37,308		13,609		
固定資産	36,774	22.3	49,516	31.1	+12,742
有形固定資産	6,696		7,285		
無形固定資産	4,340	—	5,001	—	—
投資その他	25,736		37,228		
資産合計	164,761	100.0	159,432	100.0	-5,329
流動負債	31,742	19.3	31,596	19.8	-145
買掛金	13,703	—	13,126	—	—
その他流動負債	18,038		18,470		
固定負債	11,468	7.0	11,040	6.9	-427
負債合計	43,210	26.2	42,637	26.7	-573
株主資本	115,953	70.4	110,971	69.6	-4,981
評価・換算差額等	5,597	3.4	5,823	3.7	+226
純資産合計	121,550	73.8	116,795	73.3	-4,755
負債及び純資産合計	164,761	100.0	159,432	100.0	-5,329

<当期のポイント>

(対前期末)

■ 流動資産：18,071百万円減

- ・ 現金及び預金の増加 (+10,296百万円)
- ・ 売掛金及び契約資産の減少 (-7,686百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 (+3,017百万円)
- ・ その他の減少 (-23,699百万円)

■ 固定資産：12,742百万円増

- ・ 有形固定資産の増加 (+589百万円)
- ・ 無形固定資産の増加 (+661百万円)
- ・ 投資その他の増加 (+11,491百万円)

■ 流動負債：145百万円減

- ・ 買掛金の減少 (-576百万円)
- ・ その他の増加 (+431百万円)

■ 固定負債：427百万円減

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期第2四半期は吸収合併後の当社の数値となっております

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	23年3月期	24年3月期 (予想)
売上高	42,961	42,210	47,673	97,526	100,000
（海外売上）	(251)	(195)	(167)	(112)	(400)
売上原価	23,277	22,770	25,387	52,479	—
（売上原価率）	(54.2%)	(53.9%)	(53.3%)	(53.8%)	—
販売費及び一般管理費	20,509	18,905	20,594	40,415	—
（販管费率）	(47.7%)	(44.8%)	(43.2%)	(41.4%)	—
うち研究開発費	3,782	3,712	3,344	9,233	8,400
（研究開発费率）	(8.8%)	(8.8%)	(7.0%)	(9.5%)	(8.4%)
営業利益	-825	534	1,691	4,631	6,100
（営業利益率）	(-1.9%)	(1.3%)	(3.5%)	(4.7%)	(6.1%)
経常利益	-269	1,170	2,128	5,727	6,800
（経常利益率）	(-0.6%)	(2.8%)	(4.5%)	(5.9%)	(6.8%)
四半期（当期）純利益	-249	1,685	49,200	5,722	50,900
（四半期（当期）純利益率）	(-0.6%)	(4.0%)	(103.2%)	(5.9%)	(50.9%)
一株当たり利益	-3.37円	22.70円	858.10円	77.06円	888.14円
資本金	4,317	4,317	700	4,317	—
総資産	155,314	160,792	159,432	164,761	—
純資産	117,205	119,636	116,795	121,550	—
一株当たり純資産	1,578.14円	1,610.88円	2,032.78円	1,636.65円	—
自己資本利益率	-0.2%	1.4%	41.3%	4.8%	—
自己資本比率	75.5%	74.4%	73.3%	73.8%	—
人員	1,472人	1,421人	1,464人	1,364人	—
設備投資	342	162	576	505	1,000
減価償却費	722	795	1,252	1,608	2,400

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております